



ふるさと
平成30年度（第33回）「手づくり郷土賞」（国土交通大臣表彰）に
北陸地方整備局管内から2件選定されました！

全国から寄せられた53件の応募の中から、有識者による選定委員会により23件（一般部門20件、大賞部門3件※）が選定されました。北陸地方整備局管内では、一般部門で2件が選定されました。

【北陸地方整備局管内の選定案件】
（一般部門）

会津・阿賀川における
「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ
（福島県・会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村、会津美里町）



川の指導者を養成する「会津めだか塾」



阿賀川・子供アドベンチャークラブ
カヌー遊び

<活動内容>

川は危ない、汚いから近づくなという時代に育った父母が川遊びを知らないために子供達が河川で遊ぶことができず、せっかく整備された河川利用施設も宝の持ち腐れであった。こうした現状を変えるため、地域の大人達を川の指導者として育成する「会津めだか塾」や、子供達に川遊び等機会を設ける「阿賀川・子供アドベンチャークラブ」の開催、総合学習支援などを行っている。設立から20年が経過し、過去の支援対象だった子供達が大人になって入会するなど、20歳代からの会員も増えてきている。

<地域活動団体>

阿賀川・川の達人の会

レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」
～自転車とレールで風になる～
（岐阜県・飛騨市）



レールマウンテンバイク



おくひだ1号帰還式

<活動内容>

平成18年に廃線となった町のシンボルともいえる「神岡鉄道」の鉄道遺産を自分たちの手で保存・活用できる様に、廃線となった線路の上を走る「レールマウンテンバイク」を開発・運営している。年間の利用客数は4万人を超え、周辺の観光地にも大きな経済波及効果を生み出している。また、旧神岡鉄道「おくひだ1号」帰還式等の各種イベントを開催している。平成29年には全国の廃線を活用した団体に呼びかけ、相互交流を目的とした「ロストライン協議会」を設立するなど、活動を全国に広げている。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク

全国の選定結果については資料1をご覧ください。

また、12月16日には「手づくり郷土賞受賞記念発表会～グランプリ2018～」が開催されます。（資料3 リーフレット参照）

全国の選定結果及び発表会については、以下の国土交通省本省のホームページでも同時発表しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000204.html

※大賞部門：

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したものの内、一層の発展があったものが対象。

※一般部門：

地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりがある優れた活動が一体となった成果が対象。

記者発表資料配布先

(新潟県)新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
(富山県)富山県政記者クラブ
(石川県)石川県政記者クラブ
(長野県)長野市政記者クラブ
(福島県)福島県政記者クラブ
(岐阜県)高山記者クラブ
その他専門紙

お問い合わせ先：北陸地方整備局企画部

広域計画課長 笹岡 和幸

[電話] 025-280-8880 (代表)

025-370-6687 (直通)

[FAX] 025-280-8835

平成30年度 手づくり郷土賞 選定結果

資料1

<一般部門：20件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1		北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～	新川さくら並木連合町内会	—
2	北海道	北海道	旭川市	地域を育てる緑の道 ～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～	緑道ワークス	旭川市
3		北海道	増毛町	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化	特定非営利活動法人 増毛山道の会	—
4	東北	岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ	特定非営利活動法人 北上川サポート協会	—
5		岩手県	陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして	特定非営利活動法人 高田松原を守る会	岩手県、 陸前高田市
6		山形県	西川町	月山志津温泉雪旅籠の灯り ～雪は宝～	月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会	—
7	関東	千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト(文化と芸術の里づくり)	まちづくり桜植樹プロジェクト (桜さんさん会)	—
8	北陸	福島県	会津若松市 喜多方市 会津坂下町 湯川村 会津美里町	会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ	阿賀川・川の達人の会	—
9		岐阜県	飛騨市	レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」 ～自転車とレールで風になる～	特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク	—
10	中部	岐阜県	美濃市	美濃和紙あかりアート展	美濃和紙あかりアート展実行委員会	—
11	近畿	京都府	福知山市	「雲原砂防イベント」(よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)	「雲原砂防イベント」実行委員会	—
12		京都府	長岡京市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり	特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク	—
13	中国	島根県	出雲市 雲南市 飯南町	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～	特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター	—
14		岡山県	玉野市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～	特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会	—
15	四国	徳島県	三好市	地域の駅から世界の大步危駅へ	JR大步危駅活性化協議会	—
16	九州	大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動 ～植樹交流で下釜ダム湖のある地域を心の故郷へ～	特定非営利活動法人 下釜ダム湖と森の会	日田市、 福岡市
17		大分県	豊後高田市	花とアートの岬「香々地」 ～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～	特定非営利活動法人 長崎鼻B・Kネット	豊後高田市
18		宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～荒れ果てた都市部の里山再生～	大塚台緑地林里山整備実行委員会	宮崎市
19		宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし ～霞堤とともに歩む～	川坂川を守る会	宮崎県
20		宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり ～レトロ路面電車でまちをつなぐ～	くしままちづくり協議会	串間市

<大賞部門：3件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名 ※()は一般部門等の受賞年度	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	小樽市	小樽雪あかりの路 (平成16年度)	小樽雪あかりの路実行委員会	小樽市
2	中部	三重県	伊勢市	伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり ～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～ (平成22年度)	特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆	—
3	中国	山口県	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往来 (平成23年度)	岩国往来まちづくり協議会	岩国市

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)

グランプリ 2018

入場無料

定員 200 名

※参加申し込みは裏面を
ご覧ください。

日

会場

手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出

第33回手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出します。
地域の自然、歴史、文化を生かした、全国の優れた取組状況を知
ることで、私たちの「郷土(ふるさと)」のあり方や将来を考えてみ
ませんか。

手づくり郷土賞発表会の特徴

選定団体が一堂に会しプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)
を行い、その中から、部門別にグランプリを選出します。
また、Facebookでも情報発信します。
<https://www.facebook.com/milt.tedukuri/>

